

豊 総 地 第 1 1 1 号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

豊富町長 工 藤 栄 光



今後の道路行政についての意見・要望の提出について

このことについて、別紙のとおり提出致しますので、よろしくお取り計らい  
願います。

(総務課地域振興室)

高齢化、少子化が進展する中、地域間格差への対応や活力ある地域づくりを推進するとともに、安全で安心できる国土の実現を図るためには、高速道路を含む道路の整備はより一層重要であり、必要な道路は整備すべきである。

○現状

町内の道路は、国道40号線を主要幹線として、主要道々4路線、一般道々6路線、及び町道により構成されており  
ます。  
自動車専用道路については、平成16年に豊富バイパス  
が完成供用されています。又、平成16年からは、幌富バ  
イパスが着工し、平成21年の供用開始を目指しておりま  
すが、名寄以北接続の早期着工が望まれております。  
本町は、高齢化率も高いことから、高齢化社会に対応した  
安全性の高い道路が求められています。

○課題

本町では、多くの救急患者が稚内、旭川などの高次医療が  
可能な医療機関に搬送されておりますが、遠距離のため、  
搬送時間が長く、生命を守るといふ点から搬送時間の短縮  
が必要となっております。  
音威子府バイパスについて、天塩町、中川町、音威子府村  
は、地吹雪、雪崩など走行条件が厳しい地域であり、天塩  
川沿いに蛇行した道路で運転者には気の抜けない道路環  
境であります。バイパスの早期完成を願いたい。  
天塩大橋については、狭隘で大型車輛が交差できずに停車  
しておりますので、交通事故などが発生する前の対応が必  
要です。  
市街地の除排雪について、交差点や歩道など雪が山積み  
されることにより、視界が狭まれ、交通事故が懸念されてい  
ます。

本町は、サロベツ湿原や豊富温泉など、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

これら自然の恵みを活かし、酪農、観光を始めとした様々な産業振興を進めてきました。

この環境を大切に、より良い環境を次に世代に引継ぐことは、私たちの責務であり、町民、行政が手を取り合い、今後のまちづくりを進めていく必要があります。

少子高齢化が進むこれからの社会においては、住民参加、住民活動が重要な役割を担うようになっていきます。

町民、行政がともに知恵を出し、汗をかき、これからのまちづくりについて、考え、出来ることから取り組みを行うことを通して「豊富町に住んで良かった」と町民誰もが感じる事ができる、安全・安心なまちづくり、道路づくりを目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道豊富町

| ○重点事項                       | ○代表事例                 | ○期待する効果や評価等                                                                           | ○その他 |
|-----------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>・地域活力の向上</p>             | <p>○豊富バイパス・幌富バイパス</p> | <p>○ 基幹産業である酪農を中心に一次製品や加工品を道内外へ迅速に安全に輸送するため規格の高い輸送路の確保が重要であり、付加価値の向上や市場の拡大が期待される。</p> |      |
| <p>・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化</p> | <p>○更喜苔内防雪</p>        | <p>○生活圏、経済圏、医療圏が稚内市であり、冬期間の交通事故の減少、安全性の向上が期待される。</p>                                  |      |